



DRAWN BY	DESIGNED BY	CHECKED BY	APPROVED BY	DATE	SCALE	東急車輛製造株式会社 TOKYU CAR CORPORATION
	南宮		熱木	9. 7. 10	1: 50	東急TD522-5型 セミトレーラー側面図
						東急車輛製造株式会社 TOKYU CAR CORPORATION
						TY-3910327

改造概要等説明書 (改造自動車等審査結果通知書)

指示事項

主要諸元比較表

(改造車(試作車)組立車)

項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準
車名		東急	—	乗車定員人			—
型式		TD522-5	—	最大積載量kg		47000	—
自動車の種別		普通	—	車両総重量kg	前軸重	17940	≤10t
用途		貨物	—		前後軸重		≤10t
車体の形状		セミトレーラ	—		後前軸重	21710	≤10t
燃料の種類			—		後後軸重	21710	≤10t
原動機型式			—		計	61360	≤28t
総排気量ℓ			—	最大安定	右	* 55	一般 ≥65
長さ m		11.240 (10.790)	≤12m	傾斜角度	左	* 55	その他 ≥30°
幅 m		3.200	≤2.5m	タイヤサイズ	前軸		—
高さ m		1.700	≤3.8m		前後軸		—
軸距 m		8.350+1.300 =9.650	—		後前軸	275/70R22.5 146/143J	—
輪距 m	前輪		—	後後軸	275/70R22.5 146/143J	—	
	後前輪	2.580	—	積車時	前軸		—
	後後輪	2.580	—	タイヤ	前後軸		—
室内又は 荷台の内 側の寸法	長さ m	7.700	—	荷重割合	後前軸	90.6	≤100
	幅 m	3.200	—	%	後後軸	90.6	≤100
	高さ m		—	積車時前輪	荷重割合		≥18.20%
車両重量 kg	前軸重	4100	—	リヤ・ オーバーハング m		1.140	≤1/3
	前後軸重		—	荷台オフセット m		2.600	—
	後前軸重	5130	—	最小回転半径 m		* 11.1	≤12
	後後軸重	5130	—				
計	14360	—					

能力強度等検討

制動能力	踏力 — kg	35 km/h	9.2 m	車枠強度	$\sigma_B/\sigma = 5000 / 603.3 \times 2.5 = 3.3 > 1.6$
	空気圧	7.0 kg/cm ²		車軸強度	東急TD50J4S2型セミトレーラと同一 ×
推進軸	回転数	Nc/N		操縦装置強度	
	強度	σ_B/T		緩衝装置強度	東急TD50J4S2型セミトレーラと同一 ×
				制動装置強度	東急TD50J4S2型セミトレーラと同一 ×
				連結装置強度	東急TD50J4S2型セミトレーラと同一 ×

注1. (改造車・試作車・組立車)の欄には、該当するものを○で囲むこと。

注2. 能力強度等検討欄は、該当しないものは—、省略したものは×を記入すること。

注3. ※印は 日野 W-SS2VJBA 型トラクタと連結時の計算値を示す。

TY-3910327

改造等の概要

目的	積載物品の安全輸送を計るため、中低床式セミトレーラとして新たに製作されるものである。
車枠及び車体	全体の構造は梯子型で主レールとアウトリガおよびクロスメンバとは電気溶接で組まれており前部下面にキングピンを後部に車軸装置を取り付けている。
原 動 機	
動力伝達装置	
走行装置	東急TD50J4S2型セミトレーラと同一(7自審第1620号新型自動車第16885号) 主レール後部下面の左右に取り付けられたトラニオン軸を中心にして上下左右に揺動するウォーキングビームを取り付け、テーパーローラーベアリングをはめ合わせてホイールを支える。 前、後車軸は4本とし、275/70R22.5 146/143Jのタイヤが16本使用されている。
操縦装置	
制 動 装 置	東急TD50J4S2型セミトレーラと同一(7自審第1620号新型自動車第16885号) (主ブレーキ) 気圧内部拡張式 (駐車ブレーキ) スプリング式
	ABS装置一式(車軸速度センサ、コントローラ、コントロールバルブ等) およびエアータンク20ℓを4個取り付ける。
緩衝装置	東急TD50J4S2型セミトレーラと同一(7自審第1620号新型自動車第16885号) ウォーキングビーム方式(トラニオン軸を中心にして上下左右に揺動する構造である。)
連結装置	東急TD50J4S2型セミトレーラと同一(7自審第1620号新型自動車第16885号) 第5輪方式 JIS-D-6602に準じて製作してある。
燃料装置	

注 変更のない事項については、斜線を記入すること。